

# カロム倶楽部 第53号

2010/2/7 発行: 日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

お待ちかね! レーティング・ポイント・ランキング発表

## 奥居聡氏、1,500pt越えで首位奪還! 門野悟氏、初Ten入り!

1,523pt(門野裕司氏・第34回)の最高記録に迫る勢い。裕司氏は、4敗を喫し、大きくダウン↓

トーナメント戦は、優勝・奥居聡氏。吉村颯氏・福富正子氏の長良川コンビが、門野勉氏を連続撃沈。

門野文哉氏(5勝8敗:裕司氏に勝利!)58ポイントの大幅アップ! 美加さんも(7勝5敗)78ポイントアップで、返り咲き目前。

第52回順位	第52回レーティング	氏名	第51回順位	第51回レーティング	第50回	第49回
1	1,515	奥居聡	2	1,453	1	1
2	1,389	門野裕司	1	1,458	2	2
3	1,350	角田克司	3	1,350	3	4
4	1,322	角田浩司	4	1,322	5	5
5	1,310	秦 滋	5	1,306	6	9
6	1,276	門野純也	6	1,286	7	6
7	1,259	門野 隆	8	1,259	8	7
8	1,221	門野 勉	7	1,268	10	12
9	1,210	湯谷淳一	9	1,250	4	3
10	1,196	門野 悟	16	1,151	15	16

総会・定例競技会の案内

日時: 2010年4月11日(日)

時間: 13:30~総会(受付13:00)

総会終了後、定例競技会を開催します。

会場: 文教スタジアム5Fコンベンションホール

※会場変更の場合あり。HPにてご案内致します

定例競技会参加費: 300円(ひとり)

おつりの要らないように小銭をご準備願います。

会場には駐車場がございません。

公共交通機関をご利用下さい。

第52回順位	第52回レーティング	氏名	第51回順位	第51回レーティング	第50回	第49回	第52回順位	第52回レーティング	氏名	第51回順位	第51回レーティング	第50回	第49回
11	1,183	奥居美加	19	1,105	19	10	37	1,015	吉村 颯	46	950	43	43
12	1,169	門野 等	10	1,179	9	11	38	1,012	川合四郎	36	1,012	35	32
13	1,167	古川弘樹	11	1,167	11	8	39	1,011	井戸美沙希	37	1,011	36	34
14	1,165	田島一成	12	1,165	12	13	40	1,007	田中利和	38	1,007	37	35
15	1,161	小水 元	13	1,161	13	14	41	999	定光秀郎	39	999	38	38
16	1,158	國武博之	14	1,157	14	15	42	974	馬淵加奈恵	41	974	39	39
17	1,153	福富敬雄	15	1,153	18	17	43	969	湯谷ひろみ	42	969		
18	1,149	古川慎次	17	1,149	16	18	44	959	辻本龍男	43	959	40	40
19	1,140	ケンシロウ	18	1,140	17		45	952	柳 圭二	44	952	41	41
20	1,102	若林良仁	20	1,102	20	19	46	951	筒井一男	45	951	42	42
21	1,077	岡村博之	22	1,077	22	21	47	940	井戸大志	48	940	44	45
22	1,071	安田良介	28	1,043	26	24	48	924	浜口ふゆ	49	924	47	47
23	1,063	門野大河	24	1,063	23	22	49	920	浜口浩一	49	924	46	46
24	1,054	竹腰裕紀	25	1,054	25	23	50	919	馬淵有加里	51	919	48	48
25	1,047	安田佳代子	26	1,047	27	25	51	913	馬淵紗也加	52	913	50	49
26	1,046	森下 博	27	1,046	28	26	52	909	福富正子	47	946	48	44
27	1,044	門野文哉	40	986	45	37	53	908	浜口知奈	53	908	51	50
28	1,043	馬淵克一	28	1,043	29	27	54	894	古川夏帆	54	894	52	51
28	1,043	山本有理	32	1,024	32	32	55	876	馬淵加寿美	55	876	53	52
30	1,035	古川正夫	30	1,035	30	28	56	864	角田龍也	56	864	54	53
31	1,034	井戸真也	35	1,014	24	35	57	857	太田英史	57	857	55	54
32	1,030	浅野 輝	23	1,068			58	848	鈴木則成	58	848	56	55
33	1,027	安居輝人	31	1,027	31	29	59	843	猪飼弘実	59	843	57	56
34	1,024	中川一志郎	32	1,024	32	30	60	802	若林武和	60	802	58	57
35	1,020	大須賀貴幸	21	1,087	21	20	61	715	木村浩一郎	61	715	59	58
36	1,018	若林 拓	34	1,018	34	31							

(監修: 事業部会)

# 女性セブン ウルトラセブン ウルトラC

前回のカロム倶楽部で予告させていただきましたが、女性セブン（小学館発行）1月1日号に、彦根カロムが採り上げられました。

告知した以上は、小生も女性セブンの読者にならなくてはと一念発起、近所のコンビニでサクッと「立ち読み」と出掛けたまでは良かったのですが、立ち読みのスペースには何やらややこしそうな若人がたむろしておりまして、見かけ通り正義感や勇気が感じられない僕としては、その間隙に割ってはいらざるほどの凶々しさや厚かましきなど持ち合わせているはずもなく、彼らの後方を甲賀忍者の如き忍び足ですり抜けたかと思うと、清涼飲料水が整然と並べられた棚から、「脂肪を消費しやすくする」お茶を鷲掴みにしてレジまで猛ダッシュ、お釣りの要らないように小銭で会計を済ませ、最近ブレーキの効きが何かと話題のハイブリッド車に乗り込んで、無事に我が家に帰りました。



翌朝の朝食にはサンドウィッチが用意されていて、温かいコーヒーでもと思ったのですが、そういえば昨夜買ったカテキン茶があるじゃないかと思ひ出し、冷蔵庫の扉を開けて飛び込んできた映像が、何者かの手によって半分近く消費された350mlのペットボトルでして、最終的には何の効果も見込めない、ごく

普通のお茶をコップに並々と注ぎ込んで、和洋折衷なブレイク・ファーストを堪能したのでございます。最初からそうしておけば良かったのですが、結局家内をお願いして、ようやく手に入れたのが「セブンイレブン」いや違う「女性セブン」でございます。その昔、平凡パンチやプレイボーイといった週刊紙は購読した経験がありますが、さすがに女性セブンは購入することなく、ラーメン屋か喫茶店で、パラパラッとめくり読みする程度でして、今回はカロム以外の記事なんかもしっかりと拝見させていただいて、「さすがは小学館さん」と感心するばかりでありました。

さて本題のカロム関連記事ですが、年末に売り出される（12月17日発売）ということで、「お正月の県民性」という特集記事で採り上げられていました。他のページとは紙の大きさも質も違って、高貴に取り扱われているのだから良かったわかったです。しかも、特集の後半部分で、「お正月遊びの県民性」という、これまた「気を遣いすぎてんじゃないの？」と疑いたくなるようなベストマッチなタイトルで始まる最初のページにドーンと載

翌朝の朝食にはサンドウィッチが用意されていて、温かいコーヒーでもと思ったのですが、そういえば昨夜買ったカテキン茶があるじゃないかと思ひ出し、冷蔵庫の扉を開けて飛び込んできた映像が、何者かの手によって半分近く消費された350mlのペットボトルでして、最終的には何の効果も見込めない、ごく

普通のお茶をコップに並々と注ぎ込んで、和洋折衷なブレイク・ファーストを堪能したのでございます。

最初からそうしておけば良かったのですが、結局家内をお願いして、ようやく手に入れたのが「セブンイレブン」いや違う「女性セブン」でございます。その昔、平凡パンチやプレイボーイといった週刊紙は購読した経験がありますが、さすがに女性セブンは購入することなく、ラーメン屋か喫茶店で、パラパラッとめくり読みする程度でして、今回はカロム以外の記事なんかもしっかりと拝見させていただいて、「さすがは小学館さん」と感心するばかりでありました。

さて本題のカロム関連記事ですが、年末に売り出される（12月17日発売）ということで、「お正月の県民性」という特集記事で採り上げられていました。他のページとは紙の大きさも質も違って、高貴に取り扱われているのだから良かったわかったです。しかも、特集の後半部分で、「お正月遊びの県民性」という、これまた「気を遣いすぎてんじゃないの？」と疑いたくなるようなベストマッチなタイトルで始まる最初のページにドーンと載

つけられていて、「これでまた何か注文が入るだろうなって皮算用」はしていません。

どうでもいいことかも知れませんが、事務局にミッションを送ってきたウルトラ警備隊の「フジオカ」と名乗る女性のフルネームは、「藤岡加奈子」であることが判明し、写真は僕が送ったものの中からセレクトされていて、よくよく見てみると奥居聡さん&美加さんが、ダブルス対戦中のショットが採用されていました。Good Job!



こうして、平成22年（実質的には21年末なのですが）勢いよくスタートを切ることができたカロムですが、今年は少し中身が変わります。11年間、協会が開催をしてきました「カロム日本選手権大会」を、彦根青年会議所の方で行っていただくように話し合いが進められてきて、23回大会は、彦根青年会議所の

主催で開催されることが正式に決定しました。この件に関しては、4月に開催します総会にて、詳しく説明させていただく予定になっていますが、少しばかり先取り情報を。

選手権大会の開催は、今秋（10月頃）に変更される予定です。どうやらそれまでに、カロムのイメージ・キャラクター（以前カロマン01・02というウルトラCがありました）を一般募集して、着ぐるみなんかもちょうかり制作予定、最近の彦根発スマッシュ・ヒットである「ゆるキャラ祭り」への参戦も視野に入れて、彦根戦国祭りを賑やかさそうという魂胆のようです。

そういえば、僕のまち「多賀町」でも、「たがゆいちゃん」という巫女さんのイメージ・キャラクターが生まれまして、まあ何となくカントリー娘っぽくもなく、またお宮さんに良いように使われそうな気がしないわけでもないの



ですが、パッと見可愛らしいので、僕的にはちょっとしたブームを引き起こすかも知れんなあと、身の丈ほどの期待を寄せているところなのであります。

節分は過ぎてしまいましたが、実は、初詣が未だの方がいらっしやいましたなら、ぜひ「お多賀さんと胡宮神社」にお出掛け下さいませ。